

小泉内閣の「三位一体改革」は、地方をないがしろにするもので、受け入れがたき...

矢田町長が、新年度の施政方針説明で表明

久代安敏、福原 實議員が不採択に反対する



議会最終日には、「イラクへの自衛隊派兵に反対し、中止を求める陳情」の審査報告がおこなわれ、昨年の12月議会につづいて、またもや不採択となりました。
もともと米英がおこした無法な戦争は、国連憲章に違反する先制攻撃の戦争です。イラクの現状は、占領という形で侵略戦争がつづいています。「大量破壊兵器」も発見されない大義なき戦争に加担することに対して、久代議員と福原議員が反対しましたが、2対13で「不採択」を可決しました。

イラクへの自衛隊派遣に反対・中止を求める陳情を、不採択

「地方にできることは地方に」「自己決定、自己責任」「民間にできることは、民間に」「...」
いつけん耳ざわりのいい言葉で表現される政治の世界。国政だけでなく地方自治体にもジワリジワリと押し寄せています。
先月全戸に配布された「単独自立に向けた行財政改革(中間報告)」をご覧ください。この案をじられたでしょうか。この案を基本にしつつ、住民説明会を行い、今秋最終的にまとめる予定になっています。
日南町議会でも、議員全員で構成する「行財政改革に関する調査特別委員会」を設置し検討

されていますが、「改革の道すじ段階での争点」を、つぎようにまとめてみました。
国も地方も、起債(借金)で大型公共事業をすすめたことをしっかり反省する。
福祉・教育・文化・保健・医療など人件費比率の高い分野を安易に民間委託(アウトソーシング)することは、公共性の面から問題で「改革」の名に値しない。
一部に見られる地方公務員の官僚主義的な発想を抜本的にあらため、住民の目線であらゆる施策を考え直す。
潜在的・内発的な産業を育てるネットワークを構築する。

『行財政改革』は、住民の目線で

04年度予算や条例改正などを審議した3月定例会は、3月9日から26日までの会期で開かれました。
初日に行われた施政方針説明で矢田町長は、「地方交付税の12%削減、保育園の運営費補助金の一般財源化や特別養護老人ホーム建築補助金の削減などで鮮明になった小泉内閣の「三位一体改革」は、地方をないがしろにするもので受け入れがたき内容」と、政府の姿勢をきびしく批判しました。
また、「ふくらみつつける公債費が財政を硬直化させているので、起債依存体質から脱却して健全な財政運営に努める」と表明。3月定例会は、骨太方針に象徴される「小泉構造改革」の国民いじめが、地方自治体の行財政運営に深刻な影響をおよぼしていることがうきほりになる議会でした。



吉岡吉典

参院議員が
お話しします



日本共産党 演説会

4月9日(金)

午後7時より

米子市文化ホール

わたしたちもお話します。

日南町・子育て支援

小学校就学前まで医療費
の軽減が実現

定例会最終日に、定住対策に関する
調査特別委員会の議員発議で「日南町
特別医療費助成条例」の一部改正を議
決。

小学校就学に達するまでの医療費
が通院・入院とも一部負担金のみとな
り、軽減されます。
詳しくは、福祉保健課へ。

吉岡吉典（よしおかよしのり）

日本共産党参議院議員（3期）、党参議院議員団
長。参議院外交防衛委員、憲法調査会委員。
1928年生、島根県鹿島町出身。

イラク戦争・北朝鮮
問題をめぐって、世界
と日本の平和をどう
築くのか。
年金、雇用など私た
ちのくらしはどうすれ
ばよくなるのか。
日本共産党の新しい
綱領と、「日本改革の
提案」を、わかりやす
くお話しします。
この機会にぜひ一
度、足をお運びくださ
い。



前衆議院議員
中林よし子



党県民運動部長
市谷とも子